水禍に必死の抵抗空し

一關の死者二千餘

日形濁流の底に沈む

今次の水禍による縣内各地の被害は前二回の水害をはるかに上回ること断々判明しているが殊にも十六日夜以來通信連絡の絶のため被害狀況不明で憂慮されていた縣南一關地方の狀況がもたらされたところによると想像を絶する、その慘禍は目をおゝわせるものがあり、さらに通信連絡のなかつた沿岸各地からの情報によるとその被害もぼう大に上る模様で、慘禍は一報ごとに縣下各地に拡大しつゝある

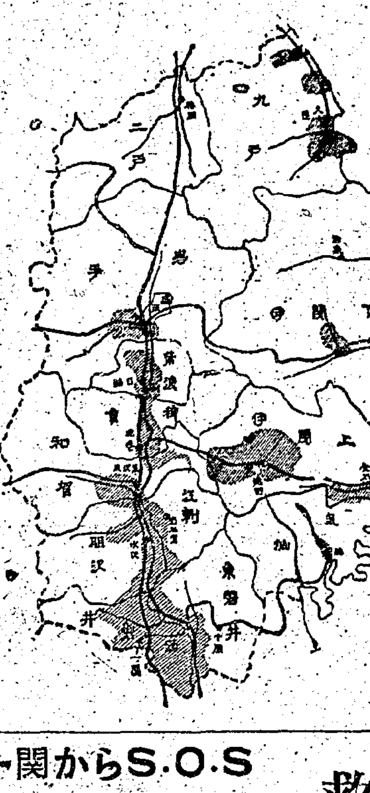
西磐井地方事務所から仙台中央盛岡放送局経由で縣警察部に達した十七日午前十時五十分の報告によれば次の通り

△一關町浸水家屋六千五百戸▽り災人員三万八千名▽生死不明二千余名△西磐井郡日形村全村二百戸壊滅

なおり災地では差當り食糧、寝具、炊事道具、衣類、衛生資材などを手配をたのむと窮状を訴えている

この西磐井地方事務所のS・O・Sは當日盛岡では全く摑めない情報であつたが、これは一關町から仙台へ、仙台から新潟を経て東京に達し、東京から逆に盛岡へもたらされたものであつた

水害図



—斜線は水害被害地—

救護班急行

縣南一帯の水害地り災民救助のため縣では十六日サランコセキロ、DDT四百ポ、ポータイ五百人分その他予防注射液、医療器材を発送した、十七日は一關方面救助のため日赤、國立病院を動員して医療救護班を編成、給水班三班、救護班二班に分け、千人分の医療器材と三万人分のパンをトラックに積み現地に向つた、なお毛布千枚、マッチ六百個、ローソク二千本、カマ三百個を至急に発送する

民協で救急薬品

縣民主團体協議会では十六日午前十時から民協水害救援委員会で緊急会議を開き、実情調査隊四班を縣南地区に派遣、被害地に対しては救急薬品を急送することに決定した、発送は鉄道その他の方法で今明日中に発送する

電信電話の不通個所

縣下における電信電話の不通は次のとおりで一關を始め未復旧個所に盛岡工事局から工員が総出動して懸命復旧に努力しているが資材難に困り、居のため當分の間は復旧の見込みは立たぬもようである

▽黒沢尻、一關間は電信、電話とも切断され、十七日正午、黒沢尻、前沢間だけ應急用一回線を架設、以後盛岡、前沢間だけ辛うじて通信出來る程度

▽盛岡、一關間は途絶、仙台、一關間は通じている

▽盛岡、宮古線は十カ所の被害で不通、但し盛岡、区界、平津戸、千徳間は十七日午後復旧した、電信電話の被害額は五百万円と電気通信工事局はみている

一關からS.O.S

救援に万策盡く

屋根に避難し小舟で連絡

十七日午前八時十三分宮城縣警察部長から本縣警察部長にあて次の無電連絡あつた

一關署長より左記救援連絡ありたるも交通不能、そのため方策なし第九軍團司令部に救援方要請せりや

一、磐井川堤防欠壊により急激に一關町に浸水し住民はそれぞれ居宅二階に退避せるも逐次増水しつゝ二階にも浸水せり

二、町民は屋根の上に現在避難せるも本朝來飲料水および食糧に窮すべき状態に立入りたり

三、小舟、イカダにより辛うじて連絡を保持しありたるも流木などによりその連絡も困難なりつゝあり

四、死傷者相当数になるも調査不能

救助の術もなし

イカダの上でお産

一關脱出記

【水沢にて松本特派員発】和賀郡横川目村製材業菊池民雄（三七）君は氣仙沼からの帰途一夜を過した一關で大こう水にあい決死的に水禍を脱出して十余里の道を歩いて水沢まで帰つて來たのをつかまえてきいた、以下その脱出記

◇…氣仙沼から一關駅に着いたのは十五日の夜七時ごろだつた一ノ関町は水が出かけ始めていた、しかしどこの宿屋も泊めてくれないので十一時過ぎまで町中を歩く旅客が多かつた、十二時ごろ警防團員は『まだ水が出て來るぞ』と警告を発して歩いている、私は仕方がないので駅の待合室にもどつてくると宿のない人が百人位いた、それから最終の大船渡線列車四輪も発車せずにいたので四百人位の人々が列車中にいた、電燈はつかない、真暗な中に突然十六日午前三時ごろ水が來た、列車を開けろという駅員の声が聞えて來た、上り列車と進駐軍列車をどこかへ疎開した駅員は懐中電燈でホームを照すと水がひたひたと押寄せてくる、駅員は旅客を東北本線線路のブリッヂの上に誘導しわれわれ旅客は汽車の屋根に上つて夜明けると刻々水嵩がまし汽車の窓まで浸水した、流家の丸太やマキ族が浮いて流れてくる、明るくなるに従つて水がふえて來たので丸太のいかだを組んで駅裏の沢部落の山の手に避難し、そこから南方をう回して一關の御館山公園に登つた

◇…一關全町は一望水浸しで同里四方を湖水化して、二階のある建物だけがポツンくと見えるだけで平屋は全然見えない、にくらしいほどよい天氣になつた、水は全く動いているふうがない、それでも刻々とふえてくる、あつちこつちの屋根の上で救いを求めているが舟がないので手が出ない、屋の泳いでいるのが二、三カ所に見える、第か屋根にとまつている警察病院の患者がイカダで救助されているのが見える、小学校は二階の上五尺のところまで浸水したと話していた、誰かがイカダの上でお産をした人があると話している、前夜一尺水がひいたので疲れと安心で寝たところを再度のこう水にやられたので予想外の死傷者を出したものらしい、二階に寝たまゝ流されて助かつたという話も聞いた、私は御館山から青年会幹部のイカダに洋服カバンをのせてもらい危いというのを泳いで磐井川を横切り山目村に着いた、そこは女学校の近くの変電所のそばで千田季四郎という百姓家だつた、そこで飯を御馳走になつた、磐井川北上川の合流点附近は最もひどい被害で製粉所数軒医院などが一ぺんに押し流されたという、山目に出てみると山目駅の建物は屋根だけ出ていた、平泉駅前では道路に姿を出し布団をかぶつて寝ていた私はそれから線路づたいに帰つて來たが衣川信号所は全然流出して跡かたも無かつた途中鉄橋の落ちている所はなかつたが線路に上流から流されて來たかやぶきの屋根が五、六カ所にひつかゝつていた

一關漸く減水

警察、食糧営團等のトラック部隊は十七日水沢から一關に向つたが國道筋前沢町の白鳥橋はじめ数カ所の橋が流失したので一行は前沢から鉄道線路づたいに前進平泉から山ノ目間はところどころヒザを没する浊水をおかして進んだ、縣に連絡のため前沢から引返した磐井水沢署長は語る

一關から前沢へ帰つてきた者の話によると十六日午前一時から二時の間に磐井川の上ノ橋の両岸堤防が欠壊して浊水が町内にハンランし遊かく跡の花川戸などは全町流失、地主町、大町は八幡さままで水びたしとなり町民は屋根の上で一夜を明かしたという、一關駅はホームの上に水深三メートル余で機関車の煙突は六寸ぐらい頭を出したのみだつたそうだ、十七日はイカダで飲料水と食糧補給しているが漸く減水しはじめ一部路面の出てきたところもあるという

耕地関係の被害

縣耕地課調査による第三次水害の耕地関係被害見込みは二億五千二百七十五万六千三十円うちわけ次の通り

▽耕地被害＝田一、二〇五町（一四三・六五五・〇〇〇円）畑五二五町（一三・一二五・〇〇〇円）

▽公共施設被害＝農道一二、八五〇間（三七・二四〇・五〇〇円）水路九五、六二〇間（四四・九四一・四〇〇円）護岸四五、七三〇間（六一・七三三・五五〇円）堤塘一一・五八〇間（一二・一七一・五八〇円）溜池三八カ所（二・二八〇・〇〇〇円）井堰一五七（一三・六五九・〇〇〇円）橋一七六（七・〇四〇・〇〇〇円）その他一一三（五・九一〇・〇〇〇円）

声

引揚運動に同情を

◇盛岡八幡宮の祭典に六年振りで参けいした、大変な人出で平和復興の種々の催しもありうれしく感じた、途中学生さん方が学業の余暇を割いて『シベリヤ同胞引揚げ運動』に熱心に街頭の人々に呼びかけているのを見て目がしらの熱くなるのを感じ募金箱に幾許かの金を献じた

◇実は私は最近シベリヤから復員したものである、街頭を往來する人々は全部とは言わないがほとんどがこの『運動』に無関心の様だと感じた、シベリヤの同胞には祭りなど夢である、もち論内地の世相も深刻である、だが彼らはもつとく苦しい惨苦を積まされている、捕りよとして労働に従事させられながら彼らの心は瞬時といえども内地につながつているのだ

◇私は献金の強制をするものではない、しかし『他人の心われ知らず』という態度でなしに大きな氣持でこの運動に同情していたゞきたい、学生さん方の御努力には全く感謝している（盛岡市一復員者）

松尾鉱山からお答

◇松尾鉱山から流れる鉱水によつて多くの方々に直接間接の御迷惑をおかけしていることは鉱山に働くものの一人として誠に苦しく感じております

◇鉱山には多数のちんでん池があり日夜多量の石かいを流していますがそれもなおあの浊流を生ずる程に鉱水の量がぼう大なのです、浊流を完全に無くする方法が無いのではないがこのぼう大な鉱水を完全に処理する時には松尾鉱山はつぶれるよりほかありません

◇あの浊流によつて直接被害をこうむるのは松尾、大更、涌民三カ村の水田ですが、これは今松川の清水をこれに切換える大工事が着々進行しており一、二年のうちに完全に鉱害を除き得るに至ると見られております、また浊流によつて皆様の風致を害していることも誠に申訳ない次第です

◇松尾鉱山は今硫安、過りん酸石灰等の最重要肥料の原料たる硫化鉱の増産に全山をあげて働いております、鉱水の処理についてはその筋の権威の御指導をいて従來も受け今後も期待しております私共もまた少しでも改善の道へ向うべく努力致すつもりです（松尾鉱山研究課長加藤富一郎）

廿五億円を突破

全縣にまたがる被害

今次水害は十七日になつて縣南一関地方の慘たんたる情報が縣に入り、また海岸地方との連絡も一部ついたが被害程度は以外に大きく、その上全縣下にまたがつており縣水害対策協議会でまとめた各課集計被害は廿五億円を突破する情勢であり國分知事は早朝から自動車で縣南の水害地帯を視察慰問、また自由党東北大会に出席のため來盛、そのまゝ足止めをくつていた吉田総裁も午後二時半トラックで水害地視察に赴いた

一方縣水害対策本部は別項のように急救救護班、援護班を現地に送るとともに対策本部を水沢町に、前沢町には出張所を設置する事になり西宮縣経済部長が総行り災者救済に万全の策を講じているが縣議会側でも事態を憂慮十九日午後四時から緊急議員総会を開いて対策を協議の上近く水害復旧対策臨時縣議会を招集することになつたなお今次水害にあたり惨かの中にある縣民の士氣阻そうを防止するため盛岡放送局から告諭放送を行うが阿部副知事は今次水害應急、恒久策について次のように語る

何しろ通信機関がだめになつて被害地との連絡がとれず困つているが放つておくわけには行かずとりあえず救護班を派遣したが現地との連絡のため舟をだして災害の救援にあたることにした、恒久策についてはいずれ臨時議会を招集する事になろう

濁流遂に東京都へ

狂う利根川の激流

十五日夜東北本線栗橋上流の堤防を欠壊してあふれた利根川の濁流は埼玉、茨城縣境の栗橋の町と町をのみ物すごい勢で東武鉄道日光線に沿つて南下十七日夜は幸手杉戸、粕壁、大宮、越ケ崎等の埼玉縣下殺到を荒して南下しつづけ東京都についに侵入した、江戸川那珂川、荒川放水路、隅田川流域の各区は厳戒中

伊勢崎死者三百名

【前橋発】利根、渡瀬両川増水により群馬縣吾妻郡下の被害は大きく交通通信の不通により被害の全ぼうは判明しないが伊勢崎市は全市浸水し死者約三百名に上りまた勢多郡大胡町も全町浸水、流失倒壊家屋百廿戸、行方不明百三十名死体収容十三名、縣下の田畑冠水ならびに流失面積は約一万五千町歩に上つている、

浊流に呑まれた埼玉

利根川増水のため東北本線栗橋鉄橋北方の埼玉縣側堤防が欠壊し、北埼玉、北葛飾、南埼玉各郡一帯は浊流ののむに委せ附近一帯の住民は続々避難し、縣当局は急拠救援の手を延べている

日米間が通信杜絶

【サンフランシスコ十六日発AP＝共同】日本本土を襲つたカサリーン台風のため米本土と東京間の通信連絡は十六日六時間半にわたり杜絶した、RCAおよびプレスワイヤレス両無電会社のいうところによれば十六日は東京の発受信局とも操作不能に陥つた

北関東の被害

【渉外局発表】台風被害は非常に大きく日本人八名死亡、三百名負傷、七十六名行方不明とみられる、連合國人には被害者はなかつた、第八軍の報告は次のとおり

栃木縣では五名死亡、三百名負傷、七十六名行方不明、千二百戸が破壊、二千戸以上が被害を受けた、全道路はこう水と地すべりで交通と絶し主要鉄橋も通れない、茨城縣は低地で出水ハフイト、避難を必要としている、千葉、群馬、埼玉、茨城の各縣では降雨九インチに及び橋道路、鉄道をあらい田畑は水びたしとなつた

前橋市では千名が堤防の上に取残されたがすぐに救援されるであろう、洪水は急速に引くものと思われる、岩手縣では多数の住民が屋根の上に避難した、仙台地区を襲つた洪水のため若干名が死亡または行方不明となつたものとみられる、横浜地区では十六日朝電話が卅パーセント杜絶、長距離電話も制限された

各地の被害続々判明

青森…【青森発】青森縣下の被害は南部地方がひどく殊に前回水害のあとかつた馬淵川沿岸ならびに與入瀬川の被害は大きい、津軽地方岩木川の増水で冠水田の外リンゴ園の被害も相当あるものと見られる、十七日正午までに判明せるもの次の通り

▽床上浸水七九五戸▽流失倒壊家屋三戸▽浸水田四、八七七町歩▽同畑七一七町歩

秋田…【秋田発】秋田縣下田の冠水面積約二万町歩に上り被害状況は次の通りで稲作の減収は約五万六千石と推定される

一、冠水田一万八千町歩（これによる減収四万七千石）

一、埋没百廿一町歩

一、倒伏面積三千町歩（これによる減収九千石）

一、畑冠水千三百町歩（内流失埋没五十七町歩）

北海道…【札幌発】北海道の被害は十七日正午現在次の通りであるがなお増加の見込

▽死者十▽床上浸水家屋一、七三三▽流失家屋三三▽冠水田七、〇八四町歩▽同畑六、〇〇七町歩

宮城縣の被害

十六日中に判明しなかつた宮城縣下の狀況次のとおり

死者二名、床上浸水八〇七、床下六九三、冠水田畑七七〇〇町歩、堤防決壊二六、道路決壊二五、橋りよう流失二九、國鉄不通ケ所二、鉄橋流失陸羽東線池月－岩手山

埼玉縣南部に警報

【浦和発】埼玉縣水害対策本部は十七日朝縣南部の草加町、川口市その他北葛飾郡南部一帯の各町村住民に避難の警告を発した縣下の被害狀況は通信線と絶のため正確には判明しないがり災の範囲は四町卅カ村の住民十五万におよぶ

水魔の後始末 つぶれた家の取片づけ（盛岡市前潟にて）

“情報提供者”に不審

摘発を種にブローカー行為

縣下を賑わした隠退蔵物資摘発隊に情報を提供している者にとかくうわさがあり花巻署でかねて内偵を進めていたがこのほど稗貫郡八幡村西田島に疎開している元鉱山業宮原絹友（五七）新潟縣下海布村鉱山業和泉伍平（六〇）らを訪問したところ盛岡市下小路鉱山業佐藤堂兵衛という者から黒沢尻町の阿部ホテル数の農業会倉庫に軍服が二億六百円があるが二十五万円の金策を依頼されたが花巻町勝沢町下川原理髪店玉その他を訪ねて金策に狂奔したがものにならず、また町内の某所で『手間賃は出すから物のあるところを知らせてくれ』とフレ歩き、さらに代議士一行の來る寸前に摘発された家を訪ね『品物があるなら買つてもいい、摘発されると損をする』といつて歩いたという事実についてなお調べを進めているが一味の名を挙げた東北鉱山工場協同組合なる情報提供者らのブローカー的行為が暴露されるに至り注目されている

花巻署では『中央物資活用委員会』の隠退蔵物資調査要綱が発表され民間人の参加協力を要請している矢先きとて情報提供者のかかる行為のないよう悪質者はドシく取締ることになつた

セーターは七千点

隠退蔵物資と認められ没収の対象となつたのは盛岡市新馬町紙卸商田沢惣次郎さんのチリ紙三号七二四八シメ、同市馬場下メリヤス製造業藤田勘一さんのセーター七千点、クツ下三千そう、同市岩手被服工業株式会社の作業衣、なお同社で製品化した作業衣は十四万九千点だが摘発をうけた岩手郡本館村倉庫の数量は縣商工課では詳らかでない

砂糖は配給品

岩手の隠退蔵物資調査結果

経済安定局で行つた盛岡花巻地方の隠退蔵物資の摘発の結果を十六日同局で次のように発表した、砂糖類は縣内配給品で隠退蔵物資ではない

一、輸入糖三四・二〇〇斤、國内糖一五・二二四斤、ビン詰し蜜糖三・二一〇本、糖蜜一・九〇四本は正規のルートによる販賣品で受入関係機関の指令によつて配給しようとしていたもので証拠の記帳や報告にも手落ちはなかつた、またサラシ、ツムギ生糸も隠退蔵物資ではない、チリ紙、作業衣、セーター、クツ下は隠退蔵物資とみられるので没収する、このほかのものは所有者の任意供出により正規の配給に乗せることとなつた

不当な人員整理か

紫波郡古館村東北染色工場では経営困難を理由に九月一杯で工場閉鎖をすると組合側に言明して問題を起している、同組合芳川委員長が縣商別を訪れて語つたところによれば

同工場は経営困難を理由に工場閉鎖によつて従業員約三十名を解雇し新に低賃金で採用することを意図している模様で、一方機械の購入や、増築などで拡張工事をやつている事実がありこれは明らかに会社側の不当な人員整理であるとしている、縣労商別では近くこの事実調査に乗り出すが三井木船の整理問題と併行して成行きが注目される

メカジキに初の注文

輸出用の大部分を本縣で

水産縣の本縣に待ちに待つた輸出用メカジキの初注文が十六日舞い込んだ、農林省水産局長からの電文によれば輸出向けとして冷凍メカジキ九万五千貫生産するよう頼んで來たものでメカジキの大部分を本縣で充すことになつている、縣ではこの報に早速立上り九月から十一月までの間に完了することになつた、各地に対する割当は次の通り

宮古五万五千貫、釜石二万貫、大槌二万貫

早く区画整理を

久慈町

久慈町は去る昭和廿年四月の大火を加えて過去卅年間に三回の大火をみているので町の大計として区画整理を断行することになり縣の指導で全國でもめずらしい耕地整理法による区画整理を行うため組合設立以來三カ年になるが最近行悩み状態にあるので町議会協議会では次の五氏を委員にあげ右事業を推進する

中新井田才次郎、小笠原兼太郎、三浦理、瀧沢利三郎、熊谷秀雄

早大立教に再敗

六大学野球秋季リーグ戦早立、慶法各二回戦は十七日午後零時五分から後楽園球場で挙行

早立二回戦

早大　100000010　2

立大　00500130A　9

◇投手＝早大（末吉、荒川）立大（藤江）

法政、慶應に快勝

慶應　000000000　0

法政　00010000A　1

◇投手＝慶應（宮中）法政（吉村）

関中組優勝

國民大会庭球

第二回國民大会縣予選男女中等学校庭球大会は十六日十時から男子は盛岡農專、女子は施設部コートで開催、男子は關中西城、日野組女子は宮古藤田、渕川組が優勝した、成績次の通り

◇男子準々決勝＝吉田、千葉（盛中）4－0佐々木、竹田（盛工）宮本、本田（宮中）4－3小原、八重樫（花中）西城、日野（関中）4－2飛沢、岩渕（福中）川村、渡辺（盛中）4－0小原、北田（岩中）

◇準決勝＝吉田、千葉4－3宮本、本田、西城、日野4－2川村、渡辺

◇決勝＝西城、日野4－1吉田、千葉

◇女子準決勝＝藤田、渕川（宮女）4－1本野、黒沢（黒女）早野、大井（宮女）4－0菅野、小山

◇決勝＝藤田、渕川4－1早野、大井（釜女）

東北線復旧見込みなし

盛岡管理部調査による十七日正午現在の鉄道関係支障の状況は次の通り

▽東北本線　陸中折居駅と同駅水沢間道床流失のため不通で復旧は廿一日ごろの見込、水沢石越、古河間不通で全線開通の見透しはつかない、ほか常磐線に三カ所不通あり

▽横黒線　和賀仙人大荒沢間土砂崩壊で黒沢尻和賀仙人間折返し運転中大荒沢までは廿日開通の見込

▽橋場線　盛岡大釜間道床流失で全線を運休、十九日開通予定

▽釜石西線　花巻似内綾堤欠かいで不通開通見込不明

▽山田線　松草－区界間十七日午後六時開通するが、松草－蟇目間は土砂崩壊その他支障二十カ所に及び、復旧は数カ月を要するとみられ、當分の間は盛岡－松草、釜石－蟇目間を折返し運転

▽花輪線　兄畑以遠状況不明十七日から当分は好摩岩手松尾間のみ運転

▽大船渡線　一関真滝間不通で詳細不明

▽省営自動車沼宮内本線　小屋瀬曽穂大川目陸中山形各区間不通同本館線は沼宮内陸中寺田間のみ運行、軽米線は陸中大野夏井間不通で当分は金田一軽米間のみ運行、深野線、賀代線は全線不通、二戸線は北福岡御返地福由荷海楓、海法寺中佐井両区間を運行、その他省営自動車線は全部運休

臨急ダイヤを編成

【仙台発】仙台鉄道局では水害により各所に不通カ所が生じたため臨時運転ダイヤを編成十八日から東北本線は仙台－古河間、常磐線は仙台－大瓶間を折返しまた仙台以北は仙台－小牛田間を折返しとし長距離列車は当分運転は見合せ

水害義金募集　締切を延期

世の義侠に訴える

前二回の水害に當り、本社は逸早く義金の募集に着手し、既にその醵額は十万円を突破したのでこれを締切りり災農民への見舞金として贈呈するつもりであつた、然るに突如として襲來した第三次の水禍は一關町の慘害をはじめ縣下各地とも既二回に比べものにならぬほど深刻なものであり、その実相は刻々の情報によつて明かになりつゝある、家族を失い、家を壊され、田畑を流失してぼう然たる人々に対し、われくは直に起つて救援の手を延べなければならぬ、本社はこの趣旨により義金募集の締切を延期し義金の額を飛躍的に増大することに決定した、世の涙ある人々に訴えるゆえんである

新岩手日報社

募集規定

一、一口十円以上

一、あて先　新岩手日報社、同各地支局、盛岡、釜石、宮古各市役所、各商工会議所

主唱　新岩手日報社

賛助　盛岡市、釜石市、宮古市、盛岡商工会議所、釜石商工会議所、宮古商工会

縣下の被害

縣警察部の十七日午後四時現在各署別の被害狀況次の通り

【盛岡】家屋流失一、同全壊五、床上浸水二九四三、床下五一五〇、堤防欠壊四、道路流失一、橋流失三

【沼宮内】床上二一、床下五八、堤防欠壊一二、道路埋没二、橋流失五、浸水田一六五町、浸水畑八四町

【日詰】家屋流失一〇、床上三一八、床下五〇六、橋流失六、浸水田二八〇、浸水畑五五

【花巻】家屋流失三四、同全壊一二、床上一八九六、床下四八七、堤防欠壊四、道路埋没四五、橋流失四三、浸水畑八一四、浸水畑四七二、死亡二、行方不明四

【黒沢尻】家屋流失四、同全壊六、床上九二四、床下四六二、堤防欠壊一一、道路流失九、橋流失一一、埋没水田三、浸水田一〇七六、浸水畑三五二、死亡三、負傷一

【水沢】家屋流失一四、床上一九七四、床下八四三、堤防欠壊三四、橋流失一五、浸水田八〇三四、浸水畑三三一、死亡五

【岩谷堂】床上五〇、床下一五〇、浸水田七五、浸水畑四〇

【千厩】床上四、床下七三、浸水田一七〇、浸水畑一一

【盛】家屋流失四、床上二七、床下五五

【遠野】家屋流失二一、同半壊二、床上一七六、床下六七五、橋流失一、埋没水田二〇、浸水田三七六、埋没畑三〇、浸水畑七五四

【釜石】床下七六、橋流失一、浸水田二、浸水畑七

【宮古】家屋半壊一、床上二四三、床下九八、堤防欠壊一、道路流失一、橋流失一、水田埋没四五、浸水田七、埋没畑二九、浸水畑七七、木材流失七〇〇石

【久慈】床上五、床下一七、道路埋没一、同流失四、浸水田二〇、浸水畑六〇

宮古の火事

十六日午前四時半ごろ宮古市築地、しよう油醸造業菊池長右衛門氏（五七）方から発火し同家を全焼した

◇にくらしい奴君“カサリーン台風”の影響を身にしみて体験盛岡に足止めを食つている名士を紹介しよう

◇故原敬の墓参かたぐくはるぐ來盛した日本自由党総裁吉田茂、平塚元運輸相、植原元内相らは天神町川村松助氏邸に“退避？”一行に随行してきた大石倫治、石田博英、近藤鶴代、苫米地義三、小笠原八十美各代議士は六日町高与旅館に、朝日新聞社論説委員岸頭夫、同社会部長進藤次郎両氏もそれぐの活動を停止させられくすぶつている、十七日青森回りで出発したのに民主党議員三好竹勇斎藤晃、木下源吾（参議院）らがいる

水害農民見舞金

△百二十円岩手縣農業会△七百八十円縣農業会岩手支部△三百五十円縣農業会胆沢支部△五百九十円同上閉伊支部△五百五十円同和賀支部△三百円同好摩工場△百三十円同好摩工場△三百五十円同大槌病院△四百二十円同釜石病院△百円同九戸病院分会△二百二十五円五十五銭同江刺病院分会△八百円同磐井病院分会△三十円大原農業会花組

九月十七日小計四千七百四十五円五十五銭

総計十万五千六百三十九円四九銭

天氣豫報

【内陸地方】北の風、しだいに曇を増しお湿りの天氣、所によつておそく小雨

ラジオ

十八日　木曜日

◇五・〇〇　私たちの農業協同組合　黒田農男◇五・三〇　職業紹介◇六・三五　朝の手帳◇七・一五　幸いな人◇九・一五　お話　京大助教授原太郎◇九・二〇　魚のおいしい食べ方◇九・三〇　三げん主奏曲、仲家正美ほか◇一〇・〇〇　NHKキンダーブック『一緒にうたいましょう』東京子供唱歌隊◇一〇・一五　お話『負けない少年』三堀一正◇一〇・四五　学校新聞◇一一・〇〇　劇　新協劇團◇一一・三〇　軽音楽　宮田信治樂團

◇〇・一五　新人演奏◇〇・三〇　小ばなしと落語◇一・〇〇　母親学校『対談』西田稲子、伊藤裕子▽独唱と案内樂▽家事手帳、氏家壽子◇二・〇〇　配給だより◇二・一五『スポーツと健康』医博日石龍作◇二・三〇　愛唱歌、川崎謙子◇三・三〇　読書案内『おもしろかつた新刊書』徳川夢声◇五・〇〇　劇『テムペスト』東京放送劇團◇五・三〇　座談会『子供と時報』◇六・〇〇　夕べの音楽『青げん楽』◇六・三〇　HKうたの本『東北農民』仙台合唱放送団◇七・二〇　解説『対日講和予備会議』◇七・三〇　街頭録音『農業協同組合について』東京都北多摩郡村山小学校にて◇八・〇〇　浪曲に送る夕、ニュースとお話、バラエティ◇九・〇〇　室内楽、関西室内楽団◇九・三〇　経済の時間

十九日予定　◇五・〇〇　今後の農業経営と落語◇六・三五　朝の手帳◇七・一五　主婦日記◇一〇・〇〇　童話『月と太郎とウサギとリスの話』道明真治郎◇一一・〇〇　劇『富士』◇一一・三〇　軽音楽

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。